

中野区北原小で緑化用防水施工



ヨツヤウレタンは、中野区から受注した住友林業（株）が受注した、学校緑化工事のうち屋上工事の地下防水として、ロバストコートGARDEN仕様の耐防根兼防食仕様防水を受注完了した。

旧防水は二十四年前に塩ビシート防水を撤去しウレタン歩行用防水を施した建物であり、今回その表層に緑化仕様を行う工事でありました。今回の防水仕様は被せ工法で三ミリ形成後に高強度ウレ

タン2kg塗布した緑化仕様でありました。今後更なる用途で建物寿命の延長に貢献できる幸せを感した工事でありました。工事完了は八月中旬でした。工事は担当は岩瀬でした。

四家 記



ザ・ヨツヤリポート

編集・発行者
ヨツヤウレタン(株)
編集者：四家正勝
yotsuya.co.jp
電話：東京
3954-2611

中央区阪本小でゴムチップ舗装



最新の技術、熱交換型塗料により夏でも涼しい校庭を完成させました。

ヨツヤウレタンは七月初旬に中央区から表題工事を受注した。在来の塗料型全天候に代わってゴムチップ舗装

に改修するために、在来床面に地下アスコンを貫通する排水用の穴を設け、その表面に透水性のゴムチップ舗装を十ミリ厚に形成させてから熱交換型塗料タフコートによる着色仕上げを行なった工事です。夏休み明けには学校に生徒たちが戻って来て、新校庭の弾性にハシヤギ廻って喜んでおった現場でした。担当は四家昭雄でした。

MS 記

塩浜第二の高層住宅棟でトップ塗り替え



トの塗り替えを提案し、管理組合の承認が得られたので今回塗り替えを実施しました。現状面をポリッシャーで塗料の浮きを点検且つ表面の目荒しを行ってから、高圧水で洗浄した。乾燥後に塗り継ぎ用のプライマーを塗布してから新規トップコートを塗って完成させた。内陸部に比べて潮風の影響が防水塗料に厳しい場所であることを認識さ

ヨツヤウレタンは防水改修の九年経過後に、将来の耐久性向上を意図してトップコー

に、せられた現場でした。都 記

新宿区旧花園小の校庭改修



ヨツヤウレタンはアスカ施設から校庭のマジックサンド舗装工事を受注し、八月末に竣工しました。在来部を耕し整地転圧してから、ピッチ@二百ミリでコア抜きサンドを充填後に、特殊なマジックサンドを厚二十五ミリ形成させ、最後にダスト水溶液を散布し埃止めと泥濘予防の舗装を完工したものです。アスカ施設ではスポーツ用防球ネット取替えや、フェンスネット新設、屋外相撲土俵の成型も行なった工事でした。担当は新井武夫でした。

都 記

新宿区旧淀橋中の校庭改修



ヨツヤウレタンは表題工事を七月下旬に受注し、九月末に完工しました。私立の大智高等学校が利用しており、更には区民への開放にも使用するために、改修した工事であった。排水施設の再構築後に在来の表層を瀝き取り除去後、黄色アンツウカー舗装に仕上げた工事であった。外周の防球ネットの取替えや、校庭開放時の管理棟の改修も含む工事でありました。当社の代理人は高橋勇一でした。

都 記

国分寺七小で防水



ヨツヤウレタンでは国分寺市から第七小学校の給食室棟屋上防水修繕工事を受注して、六月下旬に着工し八月末に完工しました。経年で劣化し、破損した部分をモルタル補修したり、浮部をエポキシ注入で固定させたりする下地修繕後に、樹脂モルタルで表面を平滑に仕上げて防水下地を形成させた。最後に床部はウレタン防水X・Iの仕様防水、率面部はX・II仕様防水で完成させた工事でした。当社は小林賢二が担当しました。猪野 記

小平市立鈴木小の防水



ヨツヤウレタンは、地元のお店である武蔵建設から表題工事を受注しており、十月二十日に完工しました。当工事は在来ウレタン面をサンダー処理しプライマー塗布を施してから、エコブルーFEN（環境対応）によるX・II仕様を實施した工事でした。耐震補強工事が終わってから最終仕上げが今月で完了となった工事でした。当社の担当は小林賢二でした。猪野 記



小平十三小の屋上防水

ヨツヤウレタンはアスカ施設が受注した西東京市の老舗である古畑建築からの工事で、エコブルーFEN（環境対応）防水を約十一トン納入し、施工指導に参加して工期完了に貢献しました。工事は在来のアスファルト防水撤去部を含む工事であり、樹脂モルタル薄塗り地下地拵えも行なって防水する箇所もあり、総面積二三八〇㎡の工事でありました。当社の指導員は熊田実が担当しました。岡山 記

ウレタン防水
ロバストコート
屋根及び外壁

塩ビシート防水
サンロイドDN
屋根及び外壁

ゴムチップ弾性舗装
ロバストベープ
屋上運動場

ウレタン弾性舗装
ロバスタン
屋根及び外壁

おかげさまで、創業44年を迎えます。 ヨツヤウレタン株式会社